

令和7年度

# 法科大学院入試合格

## 自分のペースで学習を進めることができる

岩佐 陸生さん (20代前半)

学生

### 合格した法科大学院

東京大学 (既修)、慶應義塾大学 (既修)、早稲田大学 (既修)

### 受講していた講座

法科大学院入試 (ロースクール入試) 過去問解説講座 / 東京大学、予備試験1年合格カリキュラム  
労働法 / 4講座パック

### 合格体験記

#### アガルートアカデミーを選んだ理由

私がアガルートアカデミーを選んだのは、すでに司法試験に合格していた大学の先輩からの紹介がきっかけでした。

実際に使用されていたテキストを見せていただいたところ、重要問題習得講座のテキストには、問題ごとに丁寧な解説が付されており、参考答案として示されている立場とは異なる立場をとった場合の帰結についても説明されていた点が印象的でした。

さらに、このテキストを繰り返し復習することで司法試験・予備試験に合格できたという声も頻繁に耳にしており、記載内容の信頼性も十分に担保されているように感じました。

また、論証集は非常にコンパクトで持ち運びやすく、英単語帳のような感覚で使用できるため、通学中の電車内などのすきま時間に学習するのに最適であると感じました。加えて、私自身、学業以外にもサークル活動やボランティア活動に力を入れており、まとまった学習時間を常に確保することが難しい状況にありました。

そのため、オンライン授業によって自分のペースで学習を進めることができる点も、非常に大きな魅力だと感じました。

#### 合格体験記

東京大学法科大学院の入試は、予備試験や司法試験とは異なり、1科目にかけられる時間が非常に短く、素早い情報処理が求められます。

そのため私は、追試を含めた過去問をすべて活用し、時間感覚を正確につかむことを最

重要視して学習を進めました。

また、東大ロー入試の憲法では、判例名を指摘したうえで、当該事案との関係でなぜその判例が先例性を有するのかを論じることが求められました。

これは他の試験ではあまり見られない形式であり、さらに昨年初めて出題されたため過去問の蓄積も少なく、対策が非常に困難でした。そこで私は、市販のアガルートの総合講義1問1答テキスト (憲法) を購入し、その後半部分に掲載されている重要判例のまとめを重点的に読み込みました。

これにより、判例の規範を暗記するにとどまらず、その規範がどのような考慮事項を経て導かれているのかを整理して理解することに努めました。

その結果、本番では事案に現れる要素と判例における考慮事項との違いを的確に指摘し、それが規範にどのような影響を及ぼすのかまで踏み込んだ、説得的な答案を書くことにつながったと考えています。